

ラボの課題

本ラボでは岡山市表町商店街が抱える課題を明らかにし、活性化に資する情報を獲得するため、データサイエンスに基づいた取り組みを行っています。本年度は8名の学生が表町商店街での調査に向けた準備を進めています。

春学期の活動報告

- **表町商店街の現地見学：**対象となる表町商店街の店舗や周辺環境の様子を現地観察しました。また、表町商店街連盟の矢部先生から、商店街のご紹介と質疑応答の機会をいただきました。
- **調査計画(1)行動観察調査、歩行環境調査：**今年度はエリアごとの通行量の把握だけでなく、商店街訪問者の行動パターンの分類と計測を行い、実態を把握する行動観察調査を計画しています。春学期は過去の調査事例を調べ、自分達が参考にできる方法論を把握し、方針について議論しました。実際に商店街の路上に出て、短時間の試験的な調査も行い、それを踏まえたカウントの方法や公共空間の質的分析の調査方法を決めました。
- **調査計画(2)店主様調査、イベント来場者アンケート調査：**過去数年の論文・調査資料を集め、議論しました。店主様向けアンケートの実施に向け、質問項目を選定し、質問票を作成しています。また、今年度から新たにイベント来場者アンケートを実施し、イベントの満足度や来街目的、回遊性などに関する意識調査を行うことにしました。来場者の声を基に、イベントの質向上や商店街全体への波及効果についての分析・検討を行うべく、計画を進めています。
- 以上に加えて、7月19日（土）の表町土曜夜市に参加し、ボランティア活動（桃の種飛ばし競争のイベントの運営）を行いました。



今後の計画・目標

- 春学期に立てた計画を基に、秋学期は具体的な調査を実施する予定です。行動観察調査・歩行環境調査と、店主様調査・イベント来場者調査について、それぞれの基本的な準備を二班で分担して行い、最終的な調査はラボメンバー総出で行う計画です。
- 岡山市学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクトとして、学外での発表活動も行います。今後、商店街連盟の皆様とも更なる協力をさせていただこうと考えています。

担当教員：塚常 健太

ポスター制作：白石 悠樹、山崎 崇成、中田 結斗、高橋 杏芥、
(所属学生8名) 松尾 照英、森田 幸輝、田口 想真、山田 雄生